



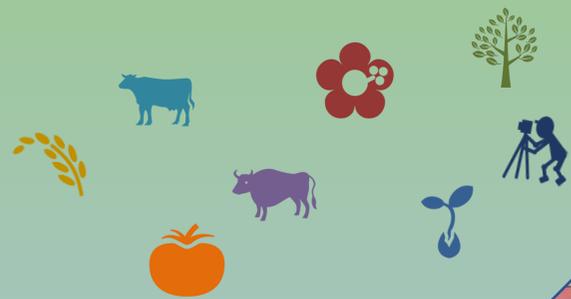
京都府立

2024 School Guide

農芸高等学校

Kyoto Prefectural Nogei High School

ここ
農芸からはじまる わたし
新しい未来



教育理念

高等学校における普通教育と農業に関する専門教育を施すことにより、社会人基礎力を養い、農業教育で培った知識・技術を活かし、生命の尊厳を尊び、農業の発展及び環境保全に貢献する意識と実行力を備えた、社会の発展に寄与する人材を育成します。

校訓

「質実剛健」

ーあしこしの強い青年を育てるー

Message

本校は基礎学力の向上と3学科8コースにおける専門知識・技能の習得、表現力や道徳的実践力、社会人基礎力を身に付け、みなさんの希望進路を実現することを目指しています。また、農業の6次産業化、スマート農業技術の導入、グローバル化など新しい時代の変化に対応した農業教育に挑戦するため、大学・企業・関係機関とより一層連携を図っています。

今年度から「がんばる農芸高校生」の姿を中心に農芸高校の魅力をリアルタイムにお届けできるように、本校公式インスタグラムで発信していますので、是非、ご覧ください。

校長 湯川 佳秀



@KYOTO_NOGEI_HS

農芸高校が実践する学び

農芸高校の学びは、農業に関する専門知識や技術を身に付けるだけでなく、「自然」と「人」を相手に経験を積み重ねていく学びです。

真剣に課題に向き合うからこそ、心に響く経験があります。

高校生の好奇心をかきたて、人生を豊かに生きていくための土台をしっかりと積み上げる。君の将来に必要な学びを実践します。



農業が広げる幅広い学び

農業は独立した分野ではありません。経営やグローバルな視点、科学的分析、情報活用能力など様々な能力が必要とされます。

農業の学びは他の学びと強く繋がっている総合的な学びです。

本校は農業の学びを軸に様々な教科と繋がり、総合的な学びを通した真の学力の向上を実現します。

社会とつながる生きた学び

学んだことを実践する。その経験が学びを深めてくれる。

対象は自然が作り出した生命だ。人が作り出した社会だ。思い通りには行かないからこそ考え、失敗し、また考える。そして気づけば誰かを笑顔に変えることが、自分にも出来ることに気づく。

本校の学びは知識としての学びを実践し、社会での役割や意義を実感できることで、心を揺さぶる学びを実践します。



最先端の施設設備で専門性の高い学び

モニタリングシステム、IoT、GPS、AIによる分析…。今、農業は新しいステージに進んでいます。今まで大切にしてきた伝統はそのままに、データや画像処理などにより、安心安全で高精度の農業が可能となっています。

本校は最先端の施設設備を導入し、新しい農業を通してこれからの未来を見つめる学びを実践しています。

ACCESS

(Agricultural Course-Centered Educational Smart System)

選択する専門分野（コース）を中心に学びを進めるシステム「ACCESS」を実践しています。

農業に関する学習は、1年後半からコースに関連した内容に移行し、生命や環境と深くつながることで、それぞれの専門性を高めます。また、コースの先輩・後輩や、教員・地域の人など多くのつながりの中で自らの役割を理解し行動する恵まれた学習環境を提供します。



希望進路を実現する学びのシステム

専門分野のコース選択だけでなく、進路目標に合わせ4年制大学進学を目指す「発展系」、農業の学びを深め多様な進路をめざす「一般系」の2系統を準備しています。関心のある農業分野を学びながら、希望進路を実現する学びのシステムで進路実現をサポートします。



「つながり」の中で学ぶ

未来につなげる学び

学びのシステム

農芸高校では農業に関わる8つの専門コースを準備しています。入学後、自身の興味関心ある専門分野を選択して本格的な学びを実践します。



作物コース

最先端ツールで
守り・支える京の食文化



酒造好適米「京の輝き」、菓子用白小豆の試験栽培を行うなど、多くの連携先と協力し、京都らしい農業の6次産業化を実践的に学んでいます。
京都府豆腐油揚商工組合青年部と連携した「大豆100粒運動 for High School プロジェクト」では、丹波黒、京白丹波などの京都ならではの大豆品種を栽培し、豆腐の商品化に成功しました。
最先端のスマート農業機械を導入し、京都の食文化を守り、支える人材を育成します。

- 農業生産の基本であるイネを中心に、マメ類、イモ類、露地野菜類の生育、栽培管理技術を学びます。
- スマート農業機械を用いた特別栽培を実践し、環境負荷の少ない持続可能な作物生産を目指します。



京都を支える農業後継者を育成

動物資源コース

先端技術と家畜改良で
京都の酪農を支える



子牛、育成牛、成牛とそれぞれのステージに沿った管理及び搾乳ができるように実習を中心に取り組んでいます。IT機器やデータ管理アプリを用い、全頭の個体情報を管理し「スマート畜産」を取り入れ、安定した酪農経営が行えるよう生産性の向上を目指しています。
酪農教育ファーム活動、家畜改良や共進会への出品等に取組み、京都の畜産を支える人材を育てます。

- 乳用牛を中心に家畜の生理特性を理解し、飼養管理・繁殖生理・飼料栽培を学びます。
- 学校の牛乳を使ったヨーグルトの販売等、外での体験活動も行います。



ここから始まる新しい酪農の世界

畜産流通コース

安心安全で高品質な畜産物生産
和牛甲子園で頂点を目指す！



和牛甲子園とは、全国の農業高校生が飼育した和牛の肉質とその取組を競う大会のことです。京都の老舗酒造から酒粕の提供を受けるなど、関連企業・団体に協力していただき、挑戦を続けています。
安心・安全で質の高い鶏卵を生産するため、徹底した衛生環境の構築と作業方法の統一化によりHACCP認証農場に指定されました。また、黄身の白い卵の研究に着手し試行錯誤の末「玄米たまご」をつくりました。

- 和牛、鶏、豚を中心に家畜の生理・生態を理解し、飼養管理技術・質の高い畜産物の生産技術を学びます。
- 京のこだわり畜産物生産農場として、衛生管理を徹底し、農芸ブランドの肉と卵の生産を目指します。



全国に誇るこだわり畜産物のブランド化

野菜コース



「6次産業化への挑戦」 食と農を支えるスペシャリスト



よりおいしく、より安全な野菜を生産することを目標に、環境に配慮した養液栽培でトマトやメロン、イチゴなどの果菜類を栽培しています。

グローバルGAPの認証を受け、京都府のモデル農場として徹底した生産工程を構築しています。また、生産物を外部企業と連携してジェラートやソースなどに加工することで商品価値を高める6次産業化にも挑戦し食と農を支えるスペシャリストを目指しています。

- 施設を用いたトマト、メロンなどの果菜類の栽培管理技術や、加工・流通・販売までを学びます。
- 徹底した環境管理や生産工程管理(GAP)を実践し、環境負荷の少ない持続可能な野菜生産を目指します。



高度な生産技術で伝える食の魅力

草花コース



「スマート農業への挑戦」 健康で高品質な栽培技術の確立



温室では、環境データを常にクラウド上で管理し、どこからでもアクセスできる環境を整えています。今まで「経験」で判断してきた栽培技術をデータ化することで、誰にでも挑戦しやすい農業に変わります。

環境をしっかり整えることで、植物の能力を最大限に発揮し、健康で高品質な植物の栽培技術の確立に挑戦しています。

- 鉢花や花苗の栽培を中心に、高品質な草花の栽培管理技術や活用方法を学びます。
- 栽培した草花で豊かな生活を創造するために、草花の2次的な活用方法の習得を目指します。



確かな技術が支える鮮やかな色彩

生物工学コース



「知識好奇心の探索と挑戦」 持続可能な農業を支えるために



新しい品種の作出や遺伝資源の調査をととして、分析を行うことで「持続可能な農業」へアプローチします。

ペチュニアとカリブラコアとの交雑種である「ペチュカリ」の開発に成功し、魅力的な花色・模様だけでなく、耐寒性をもたせたことで、温室で使用する燃料を不要にし、環境負荷を低減することに貢献しています。

- 植物バイオテクノロジーを中心に、生物資源の活用や植物の繁殖、育種に関する先端技術を学びます。
- 食品に利用される微生物の特性を理解し、バイオテクノロジー技術の習得を目指します。



すべての生き物が研究対象

造園コース



「ものづくり」への挑戦 受け継ぐ伝統の技



京都の伝統産業である造園を受け継いでいけるよう、日々技能を磨きます。

若年者ものづくり競技会には京都府代表として出場し、若い世代の技術を競うことで自らを高めることができます。また、他府県との技術交流や広い見知から技能を学ぶ機会にもなり、他では出来ない経験を積むことができます。

日本古来の文化を世界へ誇る伝統の技を受け継ぎ、未来へつないでいきます。

京都の伝統を未来へつなぐ

- 庭園や生活空間、景観保全を環境創造の視点から考え、実践的な知識と技術を学びます。
- 京都府の造園業界で活躍できるように、造園技能士などの資格取得を目指します。



農業土木コース



関連業界とのつながりで広がる学び 創造力は明日を切り拓く！



南丹広域振興局様と連携し「農業農村アプレンティスシッププログラム」通称NNAPや関連建設企業様に協力いただき、インターンシップ（就業体験）に取り組んでいます。

農業土木に関わる施設設備の機能や必要性を、働いておられる方から直接学ぶことで理解を深め専門性を高めています。

農業土木で農業、環境、人の暮らしを守っていくことを目指しています。

農業と環境、人の暮らしを守る

- 測量、設計・施工の知識を身に付け、生産基盤の整備や自然環境と調和した農業土木技術を学びます。
- 技術者として必要な測量士補、土木施工管理技士、トレース技能検定、鉄筋施工技能士などの資格取得を目指します。



運動部

スポーツを通し、心身ともに鍛えていく。

硬式野球 陸上競技 サッカー
パワーリフティング バスケットボール
バドミントン 硬式テニス 卓球 剣道



文化部

感性をたかめ、文化的教養を身に着ける。

茶道 合唱



農業クラブ専門部

農業をより主体的に学び、専門性の深化を目指す。

植物バイオ 草花 畜産 野菜 造園 環境 情報処理

生活環境を整えると、自分の成長が実感できる。

本校に入学した男子生徒は、船南寮で1年間の全寮制教育を受けます。生活指導を通して、正しいものの見方や考え方を体得し、現状を理解して自己実現の為に努力する姿勢を育みます。また、集団生活の中で自身と向き合い、自主性や協調性を身につけることを目指します。

2年次からは、希望により入寮することができ、遠方からの通学などにも対応しています。寮独自の行事があり、寮生たちの絆が深まっています。



【過去3年】

国公立大学
2%

就職
37%

私立大学
31%

公務員
3%

短期大学
2%

専門学校
25%

進学

【国公立大学】

京都教育大学、三重大学、京都府立大学

【私立大学】

東京農業大学、龍谷大学、京都先端科学大学、摂南大学、酪農学園大学
大阪商業大学、花園大学、中部大学、京都光華女子大学、明治国際医療大学
神戸芸術工科大学、長浜バイオ大学、南九州大学、京都文教大学、京都精華大学
京都芸術大学、高松大学、流通科学大学 他

【短期大学】

静岡県立農林環境専門職大学、池坊短期大学、西日本短期大学

【専門学校・大学校】

公立南丹看護専門学校（京都中部総合医療センター看護専門学校）、八紘学園北海道農業専門学校、タキイ研究農場付属園芸専門学校、修成建設専門学校、神戸動物環境専門学校、京都動物専門学校、京都医健専門学校、YIC京都ペット総合専門学校、大和学園京都製菓製パン技術専門学校、大和学園京都栄養医療専門学校、大和学園京都調理師専門学校、京都理容美容専門学校、京都医療福祉専門学校、京都保育福祉専門学校、京都芸術デザイン専門学校
京都府立農業大学校、京都建築大学校、日産自動車大学校 他

就職

【公務員】

京都府職員（農業）（土木）（学校事務）、宇治市職員（土木）
東大阪市（事務）、自衛隊

【民間企業】

山崎製パン株式会社、株式会社湖池屋、住友林業ホームエンジニアリング株式会社、石井食品株式会社、ダイハツ工業株式会社、日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、ロームメカテック株式会社、ニチコン亀岡株式会社、ユニチカ株式会社宇治事業所、共栄樹脂株式会社、寺尾道路株式会社、株式会社京都協同管理、株式会社キセキ関西中部、京都食肉市場株式会社、瑞徳農林株式会社、京都エレクトロン株式会社、大成化工株式会社、株式会社京都テクニカ、日本郵便株式会社近畿支社、京都食肉市場株式会社、株式会社コメリ、亀岡シミズ病院 他

農芸の学びは *Next Stage* へ

学びの場は農芸だけにとどまらない
大学・全国大会・企業 生徒たちの活躍は拡がりを見せていく

Open School 2023
School Information Session

8/19【土】
体験授業・学科説明会

9/30【土】
体験授業・部活体験

10/14【土】
体験授業・部活体験

11/18【土】
学校見学（農芸祭）

12/2【土】
入試説明会

京都府立大学との高大連携

(左写真)
作物コースと府立大生が行なった合同田植え実習の様子。
(右写真)
農芸オリジナル「こうとなヨーグルト」ブランド化の共同研究

高大連携はこれから
より加速化していきます！

全国大会への出場

(左写真)
第6回和牛甲子園 初出場&取組評価部門優良賞受賞
(右写真)
第73回農業クラブ全国大会 プロジェクト発表で本校初出場
分野Ⅰ類「スマート農業」と「ゲノム解析」が変える農業の未来！
分野Ⅲ類「もったいない」から「ありがとう」へ
～ロスフラワーからはじまる地域のわ～



他にも全国大会出場多数
農芸の学びが全国的に評価！

企業との連携

(左写真)
京都のチョコレート専門店「Dari K」様が
本校のハーバリウムをギフトセットで販売
(右写真)
京都ホテル京都五条様が本校で栽培した
エディブルフラワーを用いたスイーツを商品化

詳細は後日、中学校を通じて
ご案内いたします。

本校ホームページにも掲載します
のでご確認ください。



他にも企業との連携は様々あります！



学校HP



Instagram

京都府立農芸高等学校

〒622-0059 京都府南丹市園部町南大谷
TEL：0771-65-0013 FAX：0771-65-0006
Mail：nougei-hs@kyoto-be.ne.jp
HP：<http://www.kyoto-be.ne.jp/nougei-hs/>